

受賞技術	高耐久超低騒音舗装
技術開発者	首都高速道路株式会社 蔵治 賢太郎
	
受賞にあたって	
<p>栄誉ある賞をいただき、誠に光栄に思います。開発を支えた同僚とこの喜びを分かち合いたいと思います。今から12年前、私は配属された首都高速の管理局で、緊急路面穴埋め補修回数が年2,000件で車両損傷も発生していること、穴を探すパトロール、短時間の交通規制による穴埋め、車両損傷の弁済交渉といった精神的負荷の大きい任務に従事する同僚がいることを知りました。安全な舗装を提供できていないことにより運転者や同僚に迷惑がかかっていることを道路技術者として大変恥ずかしく思ったことが開発のきっかけでした。当時、表層を薄くすることで穴発生時の車両損傷リスクを軽減することを思いついたのですが、それには小粒径化と骨材飛散抵抗性に優れるバインダが必要でした。この思いに賛同くださり、優れたバインダを開発し、提供してくださったニチレキ株式会社の皆さんに本当に感謝しています。</p>	
受賞後の動き	
<p>高耐久超低騒音舗装は従来の低騒音・排水性舗装よりも優れた低騒音性、低燃費性（CO<sub>2</sub>排出量低減）、排水性を有する次世代のための舗装です。舗装の打ち換えサイクルが長期化されるため、労働人口減少社会にも適応します。首都高速ではポットホールの数が激減し、現在穴に起因する車両損傷はほぼ発生し無くなっています。今後、本舗装を全国に普及させることでより多くの車の消費燃料を縮減し、低炭素社会の実現に貢献していきたいと思います。</p>	